

# 新変額保険（有期型）〔無配当〕

## マーケットリンク

### 2024年度 特別勘定の現況

#### ●投資環境（2024年度）

##### 日本株式市場

当年度の国内株式市場は小幅に下落しました。年度初、日本経済のデフレからの脱却、企業ガバナンスの改善などから、2024年7月初めにTOPIXは大きく上昇して、史上最高値を更新しました。その後、7月の金融政策決定会合後に行われた日銀総裁の記者会見の内容が利上げに積極的と受け止められたほか、米国の景気減速懸念により円高米ドル安が進行したことなどから、国内株式市場は歴史的な暴落となりました。しかし、日銀副総裁の発言内容が急速な利上げに慎重な姿勢を示したほか、米国では9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.5%の利下げが実施されたことなどから安心感が広がり、国内株式市場は反転して、緩やかながらも上昇基調に転じました。11月に米大統領選でトランプ氏が勝利すると、関税強化への警戒や日米金融政策への思惑から、国内株式市場は年度末にかけて一進一退の動きが続きました。

##### 外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度前半は、米国で雇用統計が事前予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから、外国株式市場は下落する場面もありましたが、2024年9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が0.5%の利下げを実施したことに加え、年内の追加利下げの可能性を示唆したことが好感され、上昇しました。年度後半は、米国で2024年7-9月期の企業決算が事前予想を上回り堅調な業績が好感されたことや、米大統領選でトランプ氏が勝利し、減税や規制緩和への期待が継続するなか、外国株式市場は上昇基調で推移しました。年度末にかけては、トランプ政権がカナダに対する追加関税を発表するなど、関税政策に対する不透明感や政府機関閉鎖への懸念が高まったことなどを背景に、米国経済の先行きに対する懸念が広がり、外国株式市場は下落しました。

##### 日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。年度初、日銀による追加利上げの思惑や国債買入減額観測が高まったことなどから、10年国債利回りは1.1%程度まで徐々に水準を切り上げる展開となりました。2024年7月末に日銀が追加利上げを決定した直後に株式市場が急落した局面では10年国債利回りは0.8%程度まで大幅に低下しましたが、その後米国による財政拡張政策への警戒感から円安が進行したことを背景に、追加利上げ観測が高まったことなどから、12月末には1.1%程度まで上昇しました。2025年1月に追加利上げを決定後も、日銀関係者から利上げの継続に対する前向きなコメントが相次ぐなか、年度末にかけて10年国債利回りは一段と上昇し、1.5%程度の水準で当年度を終えました。

##### 外国債券市場

米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、米国で景気・雇用に鈍化の兆候が見られ、FRBによる利下げが実施されたことから、米国債利回りは低下しました。年度後半は、米国の経済指標の多くが堅調であったことやトランプ氏の米大統領選勝利を受けた財政悪化懸念などを背景に過度な利下げ期待が後退し、米国債利回りは上昇しましたが、年度末にかけては軟調な経済指標が続いたことやトランプ政権の関税政策が事前の予想よりも穏健だと思われたことなどから低下し、当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。年度前半は、ECB（欧州中央銀行）高官による利下げ期待を後退させる発言などからドイツ国債利回りは上昇しましたが、年度半ばにかけて米国債利回りに連動して低下しました。年度後半にかけては、堅調な経済指標や欧州全体の防衛力強化の議論などを背景とした財政拡張リスクの高まりなどにより、ドイツ国債利回りは再度上昇に転じて当年度を終えました。

##### 外国為替市場

米ドル円為替レートは小幅に円高米ドル安となりました。年度前半は、日銀が金融緩和姿勢を維持するなか、FRBが金融引き締め姿勢を維持したことにより、円安米ドル高基調で推移しました。その後、財務省による為替介入などが意識された一方、米国では景気後退懸念が高まったことから、円高米ドル安が急激に進行しました。年度後半は、日銀が追加利上げを急がない姿勢を見せたことやトランプ氏の米大統領選勝利により先行き不透明感が強まったことなどから円安米ドル高が進行しましたが、その後日銀が2025年1月に0.25%の利上げを実施し、今後の追加利上げも肯定する姿勢を見せたことから再度円高米ドル安となりました。ユーロ円為替レートは、小幅に円高ユーロ安となりました。年度前半はドイツ国債利回りが上昇するなか、日銀が金融緩和姿勢を維持したことにより円安ユーロ高が進行しましたが、その後、ドイツ国債利回りの低下や、財務省による為替介入や日銀による追加利上げが意識されたことにより、円高ユーロ安となりました。年度後半は上下に振れながらもおおむね横ばい圏で推移しました。

##### 新興国株式

新興国株式市場は年度初と比べて上昇しました。米国で新政権が発足し追加関税を巡る不透明感や中国景気に対する先行き懸念、中東情勢の緊迫化などが株価の重しとなったものの、欧米の利下げ、中国当局による追加の景気対策への期待継続、人工知能（AI）分野において中国企業が台頭し同分野の関連株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、新興国各国の株価は概して上昇しました。為替市場では円は、通貨ごとに値動きが大きく異なる傾向も見られたものの、新興国通貨に対し概して円高となりました。

##### 海外REIT

海外REIT市場は、年度初から好調な米経済指標を受け米利下げ観測が後退したことなどから下落しました。2024年5月以降は、米経済指標が市場予想を下回り米利下げ観測が強まったことや、実際に9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の引き下げが決定されたことなどから上昇しましたが、10月以降は、堅調な米経済指標を受け、米利下げ観測が後退したことなどから軟調に推移しました。12月以降は、FOMCにおいて2025年の利下げペースを鈍化する見通しが示されたことなどから下落しました。2025年に入ってから、米国長期金利が低下したことなどが好感された一方で、米国の関税政策の行方などを巡り一進一退となりました。

#### ●運用実績の推移および運用方針

- ①当期の運用実績の推移 各特別勘定の運用状況をご参照ください。
- ②当期の運用方針 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
- ③今後の運用方針 当社は、今後とも各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2024年度決算（決算日：2025年3月31日）を行いました。当資料は2024年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート（2025年4月発行（2025年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。

## ●特別勘定資産の内訳(2024年度末)

(単位：百万円)

区分	金額							
	バランス40型	バランス60型	国内株式型	外国株式型	外国債券型	新興国株式型	海外REIT型	マネー型
現預金・コールローン	36	291	40	1,817	31	53	27	224
有価証券	5,344	29,743	3,503	165,279	3,017	8,561	4,009	-
公社債	-	-	-	-	-	-	-	-
株式	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	5,344	29,743	3,503	165,279	3,017	8,561	4,009	-
貸付金	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,381	30,035	3,544	167,096	3,048	8,614	4,037	224

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況(2024年度)

(単位：百万円)

区分	金額							
	バランス40型	バランス60型	国内株式型	外国株式型	外国債券型	新興国株式型	海外REIT型	マネー型
利息配当金等収入	17	-	16	-	30	-	0	-
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	985	7,710	887	43,931	276	2,052	1,004	-
為替差益	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	987	7,359	961	37,007	268	1,448	864	-
為替差損	-	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-	-	-
収支差額	15	351	-57	6,923	38	603	140	-

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況(2024年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
バランス40型	東京海上・世界インデックス・バランス40<適格機関投資家限定>	406,617	642,000	48,624	60,808
バランス60型	東京海上・世界インデックス・バランス60<適格機関投資家限定>	1,859,664	3,530,000	-	-
国内株式型	TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>	255,595	800,000	18,329	40,632
外国株式型	東京海上セレクション・外国株式インデックス	-	-	-	-
	東京海上セレクション・外国株式インデックス2<適格機関投資家限定>*	20,237,327	35,500,000	-	-
外国債券型	東京海上セレクション・外国債券インデックス	537,347	971,000	121,409	190,975
新興国株式型	インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式	527,010	1,057,000	-	-
海外REIT型	ノムラ海外REITインデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	177,845	465,575	-	-
マネー型	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

\*2021年8月2日より「主な投資対象となる投資信託」は、「東京海上セレクション・外国株式インデックス」から変更となりました。

## ●保有契約高(2024年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
新変額保険(有期型)[無配当]マーケットリンク	341,678	3,270,746

※単位未満切捨て

(注) 保有契約高には自動延長定期保険および定額払済保険に変更された契約は含まれません。

## 特別勘定の内容および運用方針について

8種類の特別勘定から運用対象をご選択いただけます。<sup>※1</sup>

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託	特別勘定の運用方針	運用会社	資産運用関係費用 <sup>※2</sup> (年率)
バランス40型	東京海上・世界インデックス・バランス40 <適格機関投資家限定>	主な投資対象とする投資信託を通じ、日本を含む主要先進国の株式や債券に分散投資し、中長期的な資産の成長を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式15%、外国株式25%、日本債券30%、外国債券30%です。 <sup>※3</sup>	東京海上アセットマネジメント株式会社	0.1980% (税抜0.180%)
バランス60型	東京海上・世界インデックス・バランス60 <適格機関投資家限定>	主な投資対象とする投資信託を通じ、日本を含む主要先進国の株式や債券に分散投資し、中長期的な資産の成長を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式40%、日本債券20%、外国債券20%です。 <sup>※3</sup>	東京海上アセットマネジメント株式会社	0.1980% (税抜0.180%)
国内株式型	TMA日本株式インデックスVA <適格機関投資家限定>	主な投資対象となる投資信託を通じ、主としてTOPIX(東証株価指数)採用銘柄に投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。	東京海上アセットマネジメント株式会社	0.1760% (税抜0.160%)
外国株式型	東京海上セレクション・外国株式インデックス2 <適格機関投資家限定>	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として日本を除く主要先進国の株式に投資を行い、MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	東京海上アセットマネジメント株式会社	0.088% <sup>※8</sup> (税抜0.08%)
外国債券型	東京海上セレクション・外国債券インデックス	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として日本を除く主要先進国の国債に投資を行い、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	東京海上アセットマネジメント株式会社	0.1980% (税抜0.180%)
新興国株式型	インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として新興国の株式に投資を行い、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	日興アセットマネジメント株式会社	0.2750% <sup>※7</sup> (税抜0.250%)
海外REIT型	ノムラ海外REITインデックスファンドVA (適格機関投資家専用)	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として日本を除く世界各国の不動産投資信託証券(REIT)に投資を行い、S&P先進国REIT指数(除く日本、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	野村アセットマネジメント株式会社	0.4400% (税抜0.400%)
マネー型 <sup>※4</sup>	(特に定めません。) <sup>※5</sup>	円建ての預貯金、短期金融商品を中心に運用を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。	-	金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

● 資産運用関係費用は、主な投資対象となる投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが<sup>※6</sup>、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額から控除されます。

したがって、お客様はこれらの費用をご契約が保有する持分に依りて間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更・運用資産額の変動・消費税率の変更等により将来変更される可能性があります。

※1 特別勘定は新たに設定または廃止することがあります。特別勘定資産は、主に投資信託に投資することにより運用されますが、解約返戻金等のお支払いや積立金の移転(スイッチング)等に備えて一定の現預金も保有します。

※2 特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対する年率を記載しています。ご負担いただく費用については信託報酬以外にもあります。詳しくは最終ページをご覧ください。

※3 資産ごとに次の指数を基本資産配分で合成したものを参考指数とします。また、原則として毎月末時点で基本資産配分に近づけるため、リバランス(資産配分の調整)を行います。

日本株式	TOPIX(東証株価指数)	外国株式	MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)
日本債券	NOMURA-BPI(総合)	外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

※4 マーケットの先行きが読みにくい局面で資金を一時的に退避させる目的でご利用いただけます。ただし、諸費用の控除等により積立金が減少することがありますので、ご注意ください。

※5 現下の金利情勢により、現預金の運営としています。

※6 海外REIT型の場合、上記の他、当社が投資信託の解約を行う際に、当社が解約した金額の0.3%が信託財産留保金として控除されることにより、特別勘定資産が減少します。

※7 2024年8月17日以降、資産運用関係費用が0.3740%(税込)程度から0.2750%(税込)程度に変更になりました。

※8 2024年11月1日以降、資産運用関係費用が0.1760%(税込)程度から0.088%(税込)程度に変更になりました。

## 特別勘定の主な投資リスクについて

主なリスクは以下のとおりです。

資産配分リスク	複数の資産に分散投資を行う場合、投資成果の悪い資産に対する配分が大きいと投資全体の成果も悪くなります。
価格変動リスク	有価証券等の市場価格の変動により、資産価値が減少することがあります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が減少することがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が減少することがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の経営・財務状況の悪化等により、資産価値が減少することがあります。
カントリーリスク	投資対象国における政治不安や社会不安、外交関係の悪化等の要因により、資産価値が減少することがあります。
流動性リスク	市場における売買量の低下により、最適な時期に有価証券等を売買することができず、機会損失が生じることがあります。



ご注意

- 特別勘定における効率的な資産運用が困難となるなどのやむを得ない場合には、ご契約者保護の観点から、以下のお取扱いをすることがあります。
  - ・ 特別勘定の主な投資対象となる投資信託が繰上げ償還になるなどの場合、当該特別勘定を廃止または複数の特別勘定を統合することがあります。この場合、廃止する特別勘定の積立金を他の特別勘定に移転いただきます。
  - ・ 特別勘定の主な投資対象となる投資信託の純資産総額が少額となったり、信託財産上限額に達するなどの場合、当該特別勘定への保険料の繰入れ、積立金の移転(スイッチング)を停止することがあります。
- 特別勘定の主な投資対象となる投資信託、特別勘定の運用方針、運用会社等は将来変更することがあります。

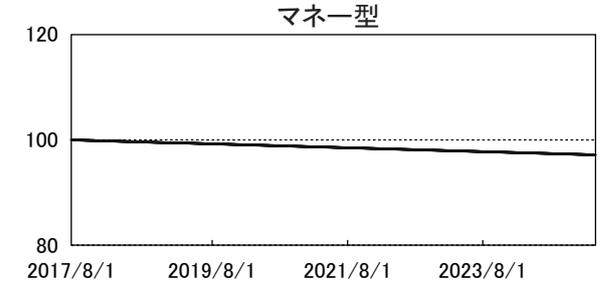
※当資料の最終ページに、「投資リスクについて」が記載されておりますので、合わせてご確認ください。

## 特別勘定 純資産総額の内訳

2025年3月末現在

特別勘定	資産配分		純資産 総額 (百万円)	特別勘定	資産配分		純資産 総額 (百万円)
	有価 証券等	現預金 その他			有価 証券等	現預金 その他	
バランス40型	99.3%	0.7%	5,381	外国債券型	99.0%	1.0%	3,048
バランス60型	99.0%	1.0%	30,035	新興国株式型	99.4%	0.6%	8,614
国内株式型	98.9%	1.1%	3,544	海外REIT型	99.3%	0.7%	4,037
外国株式型	98.9%	1.1%	167,096	マネー型	0.0%	100.0%	224

※ 資産配分は小数点第2位を四捨五入し、純資産総額は単位未満を切り捨てて表示しています。



特別勘定名	ユニットプライス 2025年3月末現在	騰落率(%)								
		1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	10年	設定来	
バランス40型	150.43	-0.87%	-4.32%	0.31%	0.03%	18.08%	48.37%	-	50.44%	
						5.70%	8.21%	-	5.53%	
バランス60型	179.87	-1.39%	-5.21%	0.98%	1.12%	27.32%	79.56%	-	79.87%	
						8.38%	12.42%	-	8.05%	
国内株式型	187.04	0.18%	-3.51%	1.55%	-1.97%	44.57%	105.77%	-	87.05%	
						13.07%	15.53%	-	8.61%	
外国株式型	280.58	-3.61%	-8.54%	2.51%	5.45%	47.78%	184.77%	-	180.58%	
						13.90%	23.28%	-	14.57%	
外国債券型	126.54	1.00%	-3.06%	1.75%	1.32%	13.73%	19.80%	-	26.55%	
						4.38%	3.68%	-	3.15%	
新興国株式型	156.08	-0.06%	-1.85%	0.19%	7.93%	24.57%	97.67%	-	56.08%	
						7.60%	14.60%	-	6.05%	
海外REIT型	167.15	-2.88%	-4.95%	-3.77%	3.92%	8.61%	102.89%	-	67.15%	
						2.79%	15.20%	-	7.01%	
マネー型	97.16	-0.03%	-0.09%	-0.19%	-0.37%	-1.12%	-1.86%	-	-2.84%	
						-0.37%	-0.37%	-	-0.38%	

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率・年換算は小数点第3位を四捨五入しています。  
 ※ユニットプライスとは、特別勘定で管理されている資産の1ユニットあたりの価格をいい、特別勘定の運用実績等に応じて変動します。  
 ※特別勘定の設定日（2017年8月1日）の前日を100として指数化し、それ以降の運用成果による増減を表しています。  
 ※特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用（基本保険金額を最低保証するための費用）等を控除していることによります。

## 組入投資信託の運用状況

2025年3月末現在

特別勘定名 バランス40型	東京海上・世界インデックス・バランス40<適格機関投資家限定>
------------------	---------------------------------

### ファンドの特色

- 主な投資対象 … 主に国内外の株式や債券に投資します。主として「TMA日本株TOPIXマザーファンド」、「TMA日本債券インデックスマザーファンド」、「TMA外国株式インデックスマザーファンド」、「TMA外国債券インデックスマザーファンド」(それぞれについて、または総称して以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資します。
- 投資方針 … 主として国内外の株式や債券を主要投資対象とするマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産(日本株式、日本債券、外国株式、外国債券)に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。各資産への投資比率は、以下の資産配分比率を基本とします。
- 参考指数 … 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を基本資産配分比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資産	基本資産配分比率	指数
日本株式	15%	TOPIX(配当込み)
日本債券	30%	NOMURA-BPI(総合)
外国株式	25%	MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
外国債券	30%	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

### 基準価額、純資産総額の推移



※ 基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※ 参考指数は設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2017年8月1日)。

※ 基準価額は1万円当たりで、信託報酬(設定日から2020年9月30日まで年率0.235%(税抜)、2020年10月1日以降年率0.18%(税抜))控除後のものです。

基準価額	15,659 円
純資産総額	5,345 百万円
設定日	2017年8月1日

### ポートフォリオ構成

資産 (マザーファンド)	実質 組入比率	基本資産 配分比率	差
日本株式	14.6%	15.0%	-0.4%
日本債券	30.4%	30.0%	0.4%
外国株式	24.8%	25.0%	-0.2%
外国債券	30.3%	30.0%	0.3%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

※ 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、当ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	-0.84	-4.27	0.49	0.38	19.69	52.09	—	56.59
年換算	—	—	—	—	6.17	8.75	—	6.02
参考指数	-0.84	-4.20	0.67	0.69	20.76	54.67	—	59.55
年換算	—	—	—	—	6.49	9.11	—	6.29
差(非年率)	-0.01	-0.07	-0.17	-0.31	-1.07	-2.58	—	-2.96

※ 騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

※ 年換算は月次収益率より算出しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含めません。

### 設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・ 商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・ 最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

## 組入投資信託の運用状況

2025年3月末現在

特別勘定名 バランス60型	東京海上・世界インデックス・バランス60<適格機関投資家限定>
------------------	---------------------------------

### ファンドの特色

- 主な投資対象 … 主に国内外の株式や債券に投資します。主として「TMA日本株TOPIXマザーファンド」、「TMA日本債券インデックスマザーファンド」、「TMA外国株式インデックスマザーファンド」、「TMA外国債券インデックスマザーファンド」(それぞれについて、または総称して以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資します。
- 投資方針 … 主として国内外の株式や債券を主要投資対象とするマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産(日本株式、日本債券、外国株式、外国債券)に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。各資産への投資比率は、以下の資産配分比率を基本とします。
- 参考指数 … 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を基本資産配分比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資産	基本資産配分比率	指数
日本株式	20%	TOPIX(配当込み)
日本債券	20%	NOMURA-BPI(総合)
外国株式	40%	MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
外国債券	20%	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

### 基準価額、純資産総額の推移



※ 基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※ 参考指数は設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2017年8月1日)。

※ 基準価額は1万円当たりで、信託報酬(設定日から2020年9月30日まで年率0.235%(税抜)、2020年10月1日以降年率0.18%(税抜))控除後のものです。

基準価額	18,756 円
純資産総額	29,745 百万円
設定日	2017年8月1日

### ポートフォリオ構成

資産 (マザーファンド)	実質 組入比率	基本資産 配分比率	差
日本株式	19.5%	20.0%	-0.5%
日本債券	20.4%	20.0%	0.4%
外国株式	39.9%	40.0%	-0.1%
外国債券	20.3%	20.0%	0.3%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

※ 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、当ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	-1.38	-5.18	1.19	1.52	29.10	84.37	—	87.56
年換算	—	—	—	—	8.89	13.02	—	8.55
参考指数	-1.38	-5.11	1.39	1.91	30.37	87.66	—	91.22
年換算	—	—	—	—	9.24	13.42	—	8.89
差(非年率)	0.00	-0.06	-0.19	-0.39	-1.27	-3.29	—	-3.66

※ 騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回りと異なる場合があります。

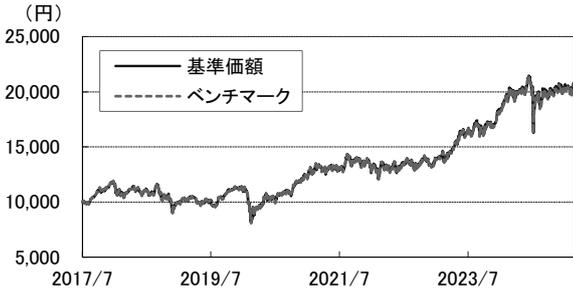
※ 年換算は月次収益率より算出しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含めません。

### 設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・ 商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・ 最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

◆TMA日本株TOPIXマザーファンド

基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは、ベビーファンドの設定日前日(設定日:2017年8月1日)を10,000円として指数化しています。

騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド	0.2	-3.4	1.9	-1.4	47.7	114.1	-	99.4
ベンチマーク	0.2	-3.4	1.8	-1.5	47.2	113.4	-	98.2
差	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.6	-	1.1

純資産総額 74,465 百万円

※ベンチマークは、TOPIX(配当込み)です。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1051銘柄

No	銘柄名	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.4
2	ソニーグループ	電気機器	3.2
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1
4	日立製作所	電気機器	2.2
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9
6	任天堂	その他製品	1.6
7	リクルートホールディングス	サービス業	1.5
8	キーエンス	電気機器	1.4
9	東京海上ホールディングス	保険業	1.4
10	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.3
合計			21.2

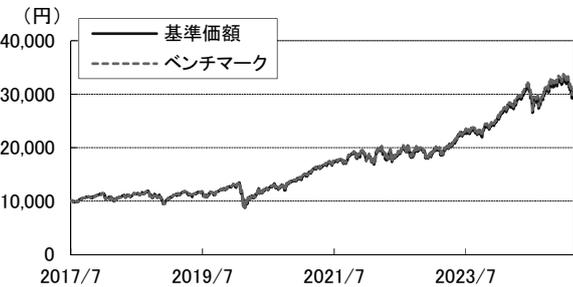
※比率は、純資産総額に占める割合です。

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	電気機器	16.4
2	銀行業	8.9
3	情報・通信業	7.1
4	輸送用機器	6.8
5	卸売業	6.3
6	機械	5.2
7	化学	4.6
8	サービス業	4.3
9	小売業	4.3
10	医薬品	4.0
合計		67.8

◆TMA外国株式インデックスマザーファンド

基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは、ベビーファンドの設定日前日(設定日:2017年8月1日)を10,000円として指数化しています。

騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド	-3.6	-8.5	2.8	6.1	51.0	197.3	-	197.8
ベンチマーク	-3.6	-8.4	3.1	6.7	52.6	201.9	-	204.0
差	-0.0	-0.1	-0.3	-0.6	-1.7	-4.6	-	-6.1

純資産総額 295,394 百万円

※ベンチマークは、MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)です。  
※基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、MSCIコクサイ指数は、基準日前日のMSCIコクサイ指数(米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものを使用しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1009銘柄

No	銘柄名	国・地域名	業種名	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.0
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8
5	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2
8	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2
9	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.2
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	金融サービス	1.1
合計				23.9

※比率は、純資産総額に占める割合です。

国・地域別配分

No	国・地域名	比率(%)
1	アメリカ	74.9
2	イギリス	4.0
3	カナダ	3.2
4	フランス	3.0
5	ドイツ	2.7
その他		10.6

通貨別配分

No	通貨名	比率(%)
1	米ドル	74.9
2	ユーロ	9.2
3	英ポンド	4.0
4	カナダ・ドル	3.2
5	スイス・フラン	2.6
その他		4.5

組入上位5業種

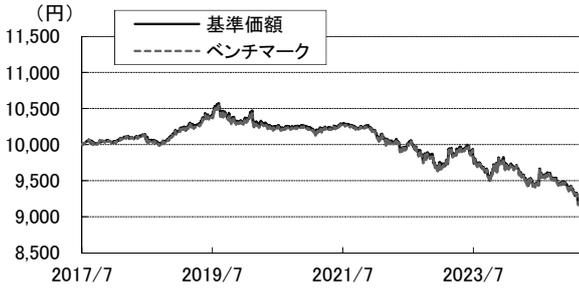
No	業種名	比率(%)
1	ソフトウェア・サービス	9.6
2	半導体・半導体製造装置	7.8
3	金融サービス	7.5
4	資本財	7.1
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.1
合計		39.1

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・商品内容の詳細については、「特別勘定のおしり」「ご契約のおしり・約款」等をご覧ください。
- ・最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

◆TMA日本債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは、ベビーファンドの設定日前日(設定日:2017年8月1日)を10,000円として指数化しています。

騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド	-1.0	-2.4	-3.6	-4.7	-8.4	-10.2	-	-7.6
ベンチマーク	-1.0	-2.4	-3.6	-4.7	-8.4	-10.1	-	-7.8
差	0.0	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.1	-	0.1

純資産総額 31,090 百万円

※ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)です。

組入上位10銘柄

No	銘柄名	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第149回利付国債(5年)	0.005	2026/09/20	1.1
2	第356回利付国債(10年)	0.100	2029/09/20	1.1
3	第374回利付国債(10年)	0.800	2034/03/20	1.1
4	第373回利付国債(10年)	0.600	2033/12/20	1.1
5	第361回利付国債(10年)	0.100	2030/12/20	1.1
6	第372回利付国債(10年)	0.800	2033/09/20	1.1
7	第367回利付国債(10年)	0.200	2032/06/20	1.0
8	第359回利付国債(10年)	0.100	2030/06/20	1.0
9	第366回利付国債(10年)	0.200	2032/03/20	1.0
10	第354回利付国債(10年)	0.100	2029/03/20	1.0
合計				10.5

※比率は、純資産総額に占める割合です。  
※ポートフォリオの状況は、途中償還などを考慮して計算しています。

債券種別比率

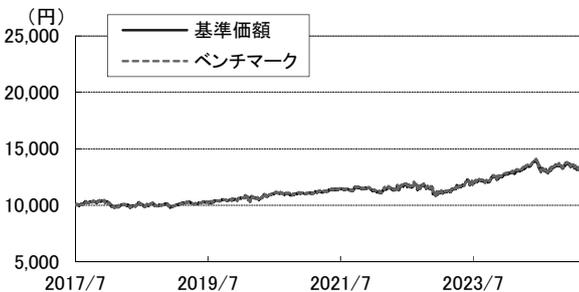
種別	比率(%)
国債	90.2
地方債	4.9
政府保証債	0.3
金融債	-
事業債	4.5
円建外債	-
MBS・ABS	0.3

ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	1.40
平均クーポン(%)	0.73
平均残存年数(年)	9.48
平均修正デュレーション	8.53

◆TMA外国債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは、ベビーファンドの設定日前日(設定日:2017年8月1日)を10,000円として指数化しています。

騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド	1.1	-3.0	2.1	1.9	15.8	23.5	-	33.2
ベンチマーク	1.1	-2.9	2.1	1.9	16.2	24.2	-	33.9
差	-0.0	-0.0	-0.1	-0.0	-0.3	-0.7	-	-0.7

純資産総額 25,474 百万円

※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。  
※基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、FTSE世界国債インデックスは、FTSE世界国債インデックス(国内投信用)(前日の現地通貨ベースの債券価格を、原則として当日のTTMで円換算したもの)を使用しています。

組入上位10銘柄

No	銘柄名	利率(%)	償還日	通貨名	比率(%)
1	中国債	2.550	2028/10/15	中国元	0.7
2	米国債	3.875	2027/12/31	米ドル	0.6
3	米国債	4.875	2028/10/31	米ドル	0.6
4	米国債	4.500	2033/11/15	米ドル	0.6
5	米国債	4.125	2032/11/15	米ドル	0.6
6	米国債	3.750	2027/08/15	米ドル	0.6
7	米国債	3.750	2028/12/31	米ドル	0.6
8	中国債	2.540	2030/12/25	中国元	0.5
9	米国債	4.625	2026/09/15	米ドル	0.5
10	米国債	4.125	2029/10/31	米ドル	0.5
合計					5.7

※比率は、純資産総額に占める割合です。

国・地域別配分

No	国・地域名	比率(%)
1	アメリカ	46.8
2	中国	10.9
3	フランス	7.2
4	イタリア	6.7
5	ドイツ	5.6
その他		21.5

通貨別配分

No	通貨名	比率(%)
1	米ドル	46.8
2	ユーロ	29.1
3	中国元	10.9
4	英ポンド	5.2
5	カナダ・ドル	2.0
その他		4.7

ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	3.52
平均クーポン(%)	2.87
平均残存期間(年)	8.23
平均修正デュレーション	6.35

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

### ■日本株式市場

3月の国内株式市場は、TOPIXは0.87%下落(配当込みベースは0.22%上昇)、日経平均株価は4.14%下落しました。上旬は、米国政府がUSMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)に準拠した製品の関税適用の延期を受けて、関税政策に対する過度な懸念が後退した一方、円高進行と半導体関連株の軟調な値動きが重石となり、国内株式市場はおおむね横ばいとなりました。中旬は、春闘における堅調な賃上げ見通しや、米国の著名投資家率いる投資会社による総合商社株への追加買付が好感されたことに加え、日米の金融政策決定会合を無難に通過したことを受けて国内株式市場は上昇しました。下旬は、ロシアとウクライナの停戦交渉の進展期待や円安回帰が好感される場面があったものの、トランプ米大統領が全ての輸入自動車に25%の関税を課すと表明したことや、米国マイクロソフト社によるAI(人工知能)データセンターへの投資縮小報道、米国の物価・消費関連指標が事前予想を下回ったことを受けたスタグフレーション(物価上昇と景気後退が同時に発生する状況)懸念の高まりなどが重石となり、国内株式市場は下落しました。今後の国内株式市場は、関税政策の影響を巡る不透明感からボラティリティ(変動性)が高い展開を予想します。国内では、賃金が高水準の伸びを示していることや、2025年7月の参議院議員選挙を控え拡張的な財政政策および金融緩和基調の継続が想定されることから、個人消費や設備投資活動は底堅く推移すると考えます。しかし、これまでのコモディティ(商品)価格の上昇および円安などを背景とした製品価格の値上げにより個人消費の減速、消費者心理や企業の設備投資意欲の後退、国内政治の不安定化などのリスクに留意する必要があります。

### ■日本債券市場

3月の国内長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。日銀による追加利上げ懸念や米国長期金利の上昇などを受けて、月初から10年国債利回りは上昇基調となりましたが、中旬以降は狭いレンジ内で推移しました。19日に終了した日銀金融政策決定会合では政策金利の据え置きが決定されましたが、米国長期金利の上昇などから、下旬以降、10年国債利回りは徐々に水準を切り上げる展開となりました。その後、40年国債入札が堅調な結果になると、10年国債利回りは低下に転じました。月末にかけては、トランプ米大統領が自動車関税に関する大統領令に署名したことをきっかけにリスク回避的な動きが強まり、株式市場が急落するなか10年国債利回りは低下しましたが、前月末対比では上昇しました。今後の国内債券市場は、米国による自動車関税政策を巡る不透明感、金利低下要因になる一方、市場参加者間では日銀による追加利上げ懸念がくすぶっていることや、4月以降に日銀の国債買入額が減額されることは金利上昇要因であり、両要因に左右されて国内長期金利は当面方向感の無い展開が継続すると予想します。

### ■外国株式市場

月前半の海外株式市場は下落しました。米国において消費者信頼感指数が低下するなか、トランプ米政権がカナダに対する追加関税を発表するなど、関税政策への不透明感が高まり、景気の先行きに対する懸念が広がったことから、海外株式市場は下落しました。月後半の海外株式市場は下落しました。トランプ米政権による貿易相手国に対する関税政策が当初の想定よりも穏当な内容となる可能性があることと期待から海外株式市場は上昇しましたが、輸入自動車に対する25%の追加関税の発表を受けて下落しました。以上のような環境下、海外株式市場は前月末対比で下落しました。今後の海外株式市場は、当面は、トランプ米政権が発表した相互関税によるマクロ経済や企業業績への影響を見極める動きや金融政策の動向により、ボラティリティ(変動性)の高い展開が予想されます。各国政府と米国政府との協議により関税率が引き下げられるなど、関税が世界経済に及ぼす影響が軽微にどまれば、企業業績の増益基調が維持され、2025年後半に向け、減税や規制緩和へ政策の焦点が移っていくと想定されることから、中長期的には海外株式市場は徐々に落ち着きを取り戻し、上昇していく展開を予想しています。

### ■外国債券市場

米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。月前半は、米国でサービス業PMI(購買担当者景況指数)などの経済指標が景気の底堅さを示した一方で、トランプ米大統領が景気後退懸念の可能性を否定しなかったことから、米国債利回りはおおむね横ばい圏で推移しました。月後半も、トランプ米政権の関税政策がインフレ再燃を招くとの懸念が高まった一方で、米国経済の減速を示唆する経済指標が相次いだことなどから、米国債利回りはおおむね横ばい圏で推移しました。ドイツ国債利回りは上昇しました。月前半は、ドイツの拡張的な財政政策や、ロシアとウクライナの停戦を巡る協議進展への期待から、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。月後半は、トランプ米政権の関税政策を巡る警戒感から、ドイツ国債利回りの上昇基調は一服しましたが、月を通しては上昇しました。新興国債利回り(利回り格差)は、米国の関税政策を巡る警戒感や、景気の先行きに対する懸念から拡大しました。今後の米国債利回りは、FRB(米連邦準備制度理事会)高官からは利下げ再開に慎重な姿勢が見られていますが、中立金利(景気を刺激も抑制もしない水準の金利)へ向けた漸進的な利下げ継続が見込まれるなか、中長期的には低下基調での推移を予想します。欧州圏では、ドイツの拡張的な財政政策による景気押し上げ効果が期待されているものの、中長期的には足元拡大したリスクプレミアム(投資家が求める期待リターンの上乗せ分)の剥落なども想定されることから、ドイツ国債利回りは中長期的には低下基調での推移を予想します。

### ■為替市場

米ドル円為替レートはおおむね横ばいとなりました。月前半は、トランプ米大統領が景気後退懸念の可能性を否定しなかったことや、日銀の利上げ観測の強まりなどを背景に日米金利差が縮小し、円高米ドル安が進行する場面がありました。月後半は、関税政策を巡り、対象となる国や品目が絞り込まれる可能性が高まったことで米国景気の先行きへの懸念が和らぎ、円安米ドル高が進行する場面があったものの、個人支出など米国経済の減速を示唆する経済指標が相次いだことや、トランプ米大統領が発表した輸入自動車への追加関税を巡る警戒感から、円高米ドル安基調で推移し、月を通してはおおむね横ばいとなりました。ユーロ円為替レートは円安ユーロ高となりました。トランプ米政権の関税政策への警戒感が高まるなか、ドイツの拡張的な財政政策や、ロシアとウクライナの停戦を巡る協議進展への期待から、円安ユーロ高基調で推移しました。月後半は、米国の輸入自動車への追加関税政策を巡る警戒感がユーロの重石となったものの、月を通しては円安ユーロ高となりました。今後の米ドル円為替レートは、日銀の今後の金融政策に関して引き続き不透明感が強いものの中、中長期的には米国の利下げや日銀の金融政策正常化への思惑を受けて円高米ドル安基調となる展開を予想します。ユーロ円為替レートは、欧州では米国の対EU(欧州連合)関税による景気下振れ懸念がくすぶる一方で、欧州各国における拡張的な財政政策による上振れ期待もあり、方向感が出にくい状況が想定されます。このような環境下、日銀のさらなる金融政策正常化への思惑を受けて、中長期的には円高ユーロ安基調となる展開を予想します。

### 【ベンチマーク、参考指数について】

- ※ 配当込みTOPIX(以下「TOPIX(配当込み)」)といふ。は、株式会社JPX総研が算出する株価指数であり、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。TOPIX(配当込み)の指数値およびTOPIX(配当込み)にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といふ。の)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等TOPIX(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX(配当込み)にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX(配当込み)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- ※ NOMURA-BPI(野村ボンド・パフォーマンス・インデックス)(総合)とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下、NFR)が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、NFRの知的財産です。NFRは、当ファンドの運用成績などに開し、一切責任を負いません。
- ※ MSCIグローバル指数とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。
- ※ FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### 設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・ 商品内容の詳細については、「特別勘定のおしり」「ご契約のおしり・約款」等をご覧ください。
- ・ 最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

## 組入投資信託の運用状況

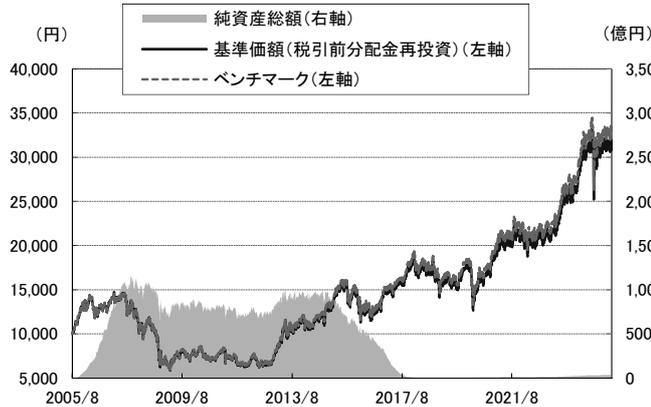
2025年3月末現在

特別勘定名 国内株式型	TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>
----------------	----------------------------

### ファンドの特色

- 主な投資対象 … 「TMA日本株TOPIXマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券  
 目標とする運用成果 … TOPIX(配当込み)に連動する投資成果の達成をめざして運用を行います。  
 ベンチマーク … TOPIX(配当込み)

### 基準価額、純資産総額の推移



※基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。基準価額は1万口当たりで、信託報酬(設定日から2020年9月30日まで年率0.3%(税抜)、2020年10月1日以降年率0.16%(税抜)控除後のものです。  
 ※ベンチマークはTOPIX(配当込み)で、設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2005年8月18日)。

### 市況コメント

3月の国内株式市場は、TOPIXは0.87%下落(配当込みベースは0.22%上昇)、日経平均株価は4.14%下落しました。上旬は、米国政府がUSMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)に準拠した製品の関税適用の延期を受けて、関税政策に対する過度な懸念が後退した一方、円高進行と半導体関連株の軟調な値動きが重石となり、国内株式市場はおおむね横ばいとなりました。中旬は、春闘における堅調な賃上げ見通しや、米国の著名投資家率いる投資会社による総合商社株への追加投資が好感されたことに加え、日米の金融政策決定会合を無難に通過したことを受けて国内株式市場は上昇しました。下旬は、ロシアとウクライナの停戦交渉の進展期待や円安回帰が好感される場面があったものの、トランプ米大統領が全ての輸入自動車に25%の関税を課すと表明したことや、米国マイクロソフト社によるAI(人工知能)データセンターへの投資縮小報道、米国の物価・消費関連指標が事前予想を下回ったことを受けたスタグフレーション(物価上昇と景気後退が同時に発生する状況)懸念の高まりなどが重石となり、国内株式市場は下落しました。

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	0.22	-3.46	1.77	-1.61	46.88	112.01	112.96	208.03
年換算	-	-	-	-	13.67	16.22	7.85	5.82
ベンチマーク	0.22	-3.44	1.81	-1.55	47.24	113.44	117.38	221.51
年換算	-	-	-	-	13.77	16.37	8.07	6.05
差(非年率)	0.00	-0.02	-0.04	-0.06	-0.37	-1.43	-4.42	-13.48

※騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回りと異なる場合があります。  
 ※年換算は月次収益率より算出しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含めません。

基準価額	30,803 円
純資産総額	3,504 百万円
設定日	2005年8月18日

### 分配金情報(1万口当たり、税引前)

基準日現在、分配実績はありません。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

### 資産別配分

資産	比率(%)
株式	93.8
株式先物	6.2
短期金融資産など	0.0
合計	100.0

※マザーファンドの資産の状況を記載しています。  
 ※比率は、純資産総額に占める割合です。  
 ※株式には、新株予約権証券を含む場合があります。  
 ※短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

### 組入上位10銘柄

組入上位10銘柄		組入銘柄数: 1051銘柄	
No	銘柄名	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.4
2	ソニーグループ	電気機器	3.2
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.1
4	日立製作所	電気機器	2.2
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9
6	任天堂	その他製品	1.6
7	リクルートホールディングス	サービス業	1.5
8	キーエンス	電気機器	1.4
9	東京海上ホールディングス	保険業	1.4
10	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.3
合計			21.2

### 組入上位5業種

No	業種名	比率(%)
1	電気機器	16.4
2	銀行業	8.9
3	情報・通信業	7.1
4	輸送用機器	6.8
5	卸売業	6.3
合計		45.5

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

## 組入投資信託の運用状況

2025年3月末現在

特別勘定名 外国株式型	東京海上セレクション・外国株式インデックス2<適格機関投資家限定> 2021年8月2日より「主な投資対象となる投資信託」は「東京海上セレクション・外国株式インデックス」から変更となりました。変更前の運用状況はP16を参照ください。
----------------	--

### ファンドの特色

- 主な投資対象 … 「TMA外国株式インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券  
 目標とする運用成果 … MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果の達成をめざして運用を行います。  
 ベンチマーク … MSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)

### 基準価額、純資産総額の推移



※基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。基準価額は1万口当たりで、信託報酬(設定日から2024年10月31日まで年率0.16%(税抜)、2024年11月1日以降年率0.08%(税抜))控除後のものです。  
 ※ベンチマークはMSCIコクサイ指数(配当込み、円ヘッジなし・円ベース)で、設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2021年7月1日)。  
 ※基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、MSCIコクサイ指数は、基準日前日のMSCIコクサイ指数(米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものを使用しています。

### 市況コメント

月前半の海外株式市場は下落しました。米国において消費者信頼感指数が低下するなか、トランプ米政権がカナダに対する追加関税を発表するなど、関税政策への不透明感が高まり、景気の先行きに対する懸念が広がったことから、海外株式市場は下落しました。月後半の海外株式市場は下落しました。トランプ米政権による貿易相手国に対する関税政策が当初の想定よりも穏当な内容となる可能性があるとの期待から海外株式市場は上昇しましたが、輸入自動車に対する25%の追加関税の発表を受けて下落しました。以上のような環境下、海外株式市場は前月末対比で下落しました。

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	-3.63	-8.54	2.76	5.95	50.26	—	—	73.53
年換算	—	—	—	—	14.54	—	—	15.83
ベンチマーク	-3.61	-8.42	3.12	6.72	52.64	—	—	76.46
年換算	—	—	—	—	15.14	—	—	16.35
差(非年率)	-0.01	-0.12	-0.36	-0.77	-2.38	—	—	-2.93

※騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回りと異なる場合があります。  
 ※年換算は月次収益率より算出しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含めません。

基準価額	17,353 円
純資産総額	165,278 百万円
設定日	2021年7月1日

### 分配金情報(1万口当たり、税引前)

基準日現在、分配実績はありません。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

資産別配分	資産	比率(%)
株式		98.3
株式先物		3.2
短期金融資産など		-1.6
合計		100.0

国・地域別配分	No	国・地域名	比率(%)
	1	アメリカ	74.9
	2	イギリス	4.0
	3	カナダ	3.2
	4	フランス	3.0
	5	ドイツ	2.7
		その他	10.6

通貨別配分	No	通貨名	比率(%)
	1	米ドル	74.9
	2	ユーロ	9.2
	3	英ポンド	4.0
	4	カナダ・ドル	3.2
	5	スイス・フラン	2.6
		その他	4.5

※マザーファンドの資産の状況を記載しています。  
 ※比率は、純資産総額に占める割合です。  
 ※株式には、不動産投資信託証券(REIT)を含む場合があります。  
 ※短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

組入上位10銘柄		組入銘柄数: 1009銘柄	
No	銘柄名	国・地域名	業種名
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り
5	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽
8	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品
9	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	金融サービス
	合計		23.9

組入上位5業種		
No	業種名	比率(%)
1	ソフトウェア・サービス	9.6
2	半導体・半導体製造装置	7.8
3	金融サービス	7.5
4	資本財	7.1
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.1
	合計	39.1

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- 商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- 最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

## 組入投資信託の運用状況

2025年3月末現在

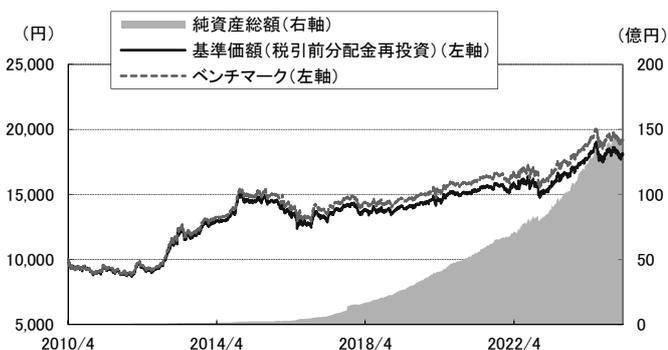
特別勘定名  
外国債券型

東京海上セレクション・外国債券インデックス

### ファンドの特色

- 主な投資対象 … 「TMA外国債券インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券  
 目標とする運用成果 … FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果の達成をめざして運用を行います。  
 ベンチマーク … FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

### 基準価額、純資産総額の推移



※基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。基準価額は1万口当たりで、信託報酬(設定日から2016年9月30日まで年率0.55%(税抜)、2016年10月1日以降年率0.18%(税抜))控除後のものです。

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)で、設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2010年4月28日)。

※基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、FTSE世界国債インデックスは、FTSE世界国債インデックス(国内投信用)(前日の現地通貨ベースの債券価格を、原則として当日のTTMで円換算したもの)を使用しています。

### 市況コメント

米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。前半は、米国でサービス業PMI(購買担当者景況指数)などの経済指標が景気の底堅さを示した一方で、トランプ米大統領が景気後退懸念の可能性を否定しなかったことから、米国債利回りはおおむね横ばい圏で推移しました。月後半も、トランプ米政権の関税政策がインフレ再燃を招くとの懸念が高まった一方で、米国経済の減速を示唆する経済指標が相次いだことなどから、米国債利回りはおおむね横ばい圏で推移しました。ドイツ国債利回りは上昇しました。前半は、ドイツの拡張的な財政政策や、ロシアとウクライナの停戦を巡る協議進展への期待から、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。月後半は、トランプ米政権の関税政策を巡る警戒感から、ドイツ国債利回りの上昇基調は一服しましたが、月を通しては上昇しました。新興国債券と先進国債券のスプレッド(利回り格差)は、米国の関税政策を巡る警戒感や、景気の先行きに対する懸念から拡大しました。

### 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	1.05	-3.02	1.96	1.64	15.14	22.28	24.49	80.59
年換算	—	—	—	—	4.81	4.11	2.21	4.05
ベンチマーク	1.09	-2.93	2.15	1.88	16.15	24.18	28.43	91.69
年換算	—	—	—	—	5.12	4.43	2.53	4.46
差(非年率)	-0.05	-0.09	-0.18	-0.23	-1.02	-1.90	-3.93	-11.10

※騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回りと異なる場合があります。  
 ※年換算は月次収益率より算出しています。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含めません。

基準価額	18,059 円
純資産総額	14,350 百万円
設定日	2010年4月28日

### 分配金情報(1万口当たり、税引前)

基準日現在、分配実績はありません。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

### 資産別配分

資産	比率(%)
債券	98.6
債券先物	—
短期金融資産など	1.4
合計	100.0

### 国・地域別配分

No	国・地域名	比率(%)
1	アメリカ	46.8
2	中国	10.9
3	フランス	7.2
4	イタリア	6.7
5	ドイツ	5.6
その他	21.5	

### 通貨別配分

No	通貨名	比率(%)
1	米ドル	46.8
2	ユーロ	29.1
3	中国元	10.9
4	英ポンド	5.2
5	カナダドル	2.0
その他	4.7	

※マザーファンドの資産の状況を記載しています。  
 ※比率は、純資産総額に占める割合です。  
 ※短期金融資産などは、組入価証券以外のものです。

### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 862銘柄					
No	銘柄名	利率(%)	償還日	通貨名	比率(%)
1	中国債	2.550	2028/10/15	中国元	0.7
2	米国債	3.875	2027/12/31	米ドル	0.6
3	米国債	4.875	2028/10/31	米ドル	0.6
4	米国債	4.500	2033/11/15	米ドル	0.6
5	米国債	4.125	2032/11/15	米ドル	0.6
6	米国債	3.750	2027/08/15	米ドル	0.6
7	米国債	3.750	2028/12/31	米ドル	0.6
8	中国債	2.540	2030/12/25	中国元	0.5
9	米国債	4.625	2026/09/15	米ドル	0.5
10	米国債	4.125	2029/10/31	米ドル	0.5
合計					5.7

### ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	3.52
平均クーポン(%)	2.87
平均残存期間(年)	8.23
平均修正デュレーション	6.35

※最終利回りとは、既に発行された債券を購入し、満期償還日まで保有した場合の利回りをいいます。また、複利とは、利息の計算方法のひとつで、利息の再投資のリターンを考慮に入れた方法です。  
 ※クーポンとは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。  
 ※残存期間とは、債券の満期償還日までの期間です。  
 ※修正デュレーションとは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標であり、その値が大きいかほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・商品内容の詳細については、「特別勘定のおしり」「ご契約のおしり・約款」等をご覧ください。
- ・最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

# 組入投資信託の運用状況

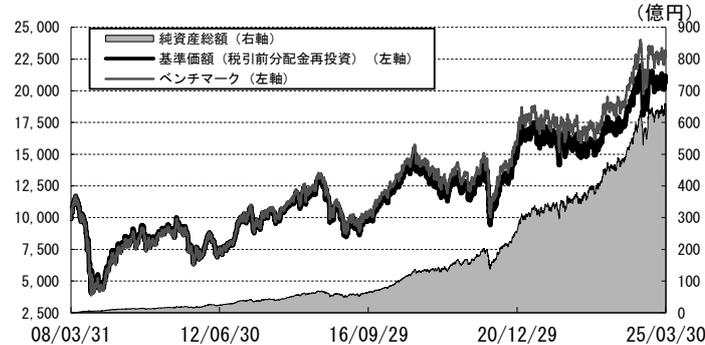
2025年3月末現在

特別勘定名 新興国株式型	インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式
-----------------	---------------------------

## ファンドの特色

- 主な投資対象 … 新興国の株式  
 目標とする運用成果 … ベンチマークに連動する運用成果をめざします。  
 ベンチマーク … MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)

## 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



※基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。  
 ※「MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。  
 ※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
 ※信託報酬率(税抜)は、設定から2010年2月16日までは0.85%、2012年2月16日までは0.79%、2020年9月30日までは0.55%、2024年8月16日までは0.34%、2024年8月17日以降は0.25%です。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

## 市況コメント

◎市場環境  
 新興国株式市場は、概して上昇しました。米国が打ち出す関税政策による世界景気の不透明感が懸念されたことなどが株価の重しとなったものの、来月から導入予定の「相互関税」を巡り、米国大統領が多くの国に減免措置を与える可能性に言及し関税政策への警戒感が和らいだことや、中国当局による追加の景気対策への期待が継続していること、インド準備銀行(RBI)が海外の個人投資家による上場企業への投資上限を引き上げる方針と伝わったことなどから、新興国株式市場は概して上昇しました。  
 為替市場で円は、新興国通貨に対してまちまちの動きとなりました。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	-0.03	-1.78	0.38	8.43	26.40	103.40	71.22	106.87
年換算	-	-	-	-	8.12	15.26	5.52	3.79
ベンチマーク	-0.14	-1.67	0.62	8.91	28.92	108.96	83.24	126.70
年換算	-	-	-	-	8.84	15.88	6.24	4.34
差(非年率)	0.11	-0.11	-0.24	-0.47	-2.51	-5.56	-12.03	-19.83

※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。  
 ※ベンチマークは、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」です。  
 前日(土・日等を除く)のドルベースインデックスを当日のファンドで採用しているレートで円換算しており、投資信託の基準価額算出方法に合わせています。

## 分配金情報(1万円当たり、税引前)

2020年11月	2021年11月	2022年11月	2023年11月	2024年11月	設定来累計
10円	10円	10円	0円	0円	120円

## 国・地域別配分上位

国名	比率(%)
中国	26.8
インド	17.2
台湾	16.3
韓国	8.6
サウジアラビア	3.7
ブラジル	3.7
南アフリカ	2.7
メキシコ	1.8
香港	1.4
アラブ首長国連邦	1.3
合計	83.5

※比率はマザーファンドの対純資産総額比です。

## 組入上位10銘柄(組入銘柄数:1088銘柄)

No	銘柄名	国名	業種	比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	半導体・半導体製造装置	8.32
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	メディア・娯楽	4.98
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	一般消費財・サービス流通	3.21
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェア	2.30
5	HDFC BANK LIMITED	インド	銀行	1.43
6	XIAOMI CORP-CLASS B	中国	テクノロジー・ハードウェア	1.27
7	MEITUAN-CLASS B	中国	消費者サービス	1.20
8	RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド	エネルギー	1.07
9	PDD HOLDINGS INC-ADR	アイルランド	一般消費財・サービス流通	0.98
10	ICICI BANK LTD	インド	銀行	0.98
	合計			25.75

※比率はマザーファンドの対純資産総額比です。

設定・運用:日興アセットマネジメント株式会社

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・最終ページに「お客様にご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

# 組入投資信託の運用状況

2025年3月末現在

特別勘定名 海外REIT型	<b>ノムラ海外REITインデックス・ファンドVA(適格機関投資家専用)</b>
------------------	--

## ファンドの特色

- 主な投資対象 …… 日本を除く世界各国の不動産投資信託証券(以下「REIT」といいます。)を実質的な主要投資対象とします。
- 目標とする運用成果 …… S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ベンチマーク …… S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)

## 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



※上記の指数化した基準価額(税引前分配金再投資)の推移および下記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬(税込年0.44%)控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※上のグラフのベンチマークである、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。

## 市況コメント

2月の米中古住宅販売件数は増加したものの、トランプ米政権の通商政策に対する警戒感などを背景に外国リート市場が下落する場面は多く、月間で外国リート市場は米国を中心に下落しました。3月の米サービス業PMI(購買担当者景気指数)の速報値が市場予想を上回ったことなどが米ドルの円に対する上昇(円安)要因となった一方で、2月の米個人消費支出の前月比が市場予想を下回ったことなどが米ドルの円に対する下落(円高)要因となり、月間では米ドルは円に対して小幅に下落となりました。一方で欧州では、ドイツ政府が防衛支出やインフラ支出を大規模に拡大する方針を示し、ユーロ圏内の先々の景気浮揚が意識されたことから、ユーロは円に対して上昇しました。

基準価額	25,856 円
------	----------

※分配金控除後

純資産総額	45.4 億円
-------	---------

設定日	2006年8月22日
-----	------------

分配金情報(1万口当たり、税引前)	
-------------------	--

2024年6月	5 円
---------	-----

2023年6月	5 円
---------	-----

2022年6月	5 円
---------	-----

2021年6月	5 円
---------	-----

2020年6月	5 円
---------	-----

設定来累計	60 円
-------	------

## 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	-2.89	-4.91	-3.65	4.30	9.94	108.54	70.61	159.54
年換算	-	-	-	-	3.21	15.83	5.48	5.25
ベンチマーク	-2.89	-4.66	-3.18	5.29	13.18	117.43	86.29	202.28
年換算	-	-	-	-	4.21	16.80	6.41	6.12
差(非年率)	0.00	-0.25	-0.46	-0.99	-3.24	-8.88	-15.69	-42.74

※騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

※3年・5年・10年の騰落率は年率平均(複利ベース)

## 資産別配分

資産	比率(%)
REIT	98.9
先物	1.5
その他の資産	1.1

※比率は、マザーファンドにおける純資産比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

## 国・地域別配分

国・地域	比率(%)
アメリカ	81.1
オーストラリア	6.8
イギリス	4.3
シンガポール	3.1
フランス	1.9
その他の国・地域	4.3

※国・地域は、原則発行国・地域で区分しております。

## 通貨別配分

通貨	比率(%)
日本・円	-0.5
外貨計	100.5
アメリカ・ドル	80.2
ユーロ	3.6
イギリス・ポンド	4.3
その他の外貨	12.4

※比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

## 配当利回り

4.2%
------

※配当利回りは、マザーファンドの配当利回りと同ファンドで保有するマザーファンド比率から算出しております。実際にファンドが受け取ることができる金額とは異なります。

## 組入上位10銘柄

組入銘柄数：290 銘柄

No	銘柄	国・地域	比率(%)
1	PROLOGIS INC	アメリカ	7.0
2	WELLTOWER INC	アメリカ	6.4
3	EQUINIX INC	アメリカ	5.4
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3.5
5	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.4
6	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.2
7	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.1
8	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.6
9	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	2.3
10	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	2.1
合計			39.0

※比率は、マザーファンドにおける純資産比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

※国・地域は、原則発行国・地域で区分しております。

「S&P先進国REIT指数(除く日本)」はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に關しいかなる意思表示等を行うものではありません。

## ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・ 商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・ 最終ページに「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。

## 2021年8月2日付の主な投資対象となる投資信託の変更内容

変更前後の投資対象となる投資信託は、同一のマザーファンドを使用しており、運用方針等に変更はありません。

	変更前 (P16)	変更後 (P12)
特別勘定名	外国株式型	
投資対象となる投資信託	東京海上セレクション・外国株式インデックス	東京海上セレクション・外国株式インデックス2 ＜適格機関投資家限定＞
費用 (信託報酬率)	年率0.2200% (税抜0.200%)	年率0.088% (税抜0.08%) <sup>(※)</sup>

(※)2024年11月1日より変更になりました。なお、2021年8月1日から2024年10月31日は年率0.1760%(税抜0.160%)でした。

変更前の投資信託の運用状況は以下の通りです。

2021年8月2日より「主な投資対象となる投資信託」は、「東京海上セレクション・外国株式インデックス2」に変更となりました。最新の運用状況はP12をご参照ください。

組入投資信託の運用状況	
特別勘定名	東京海上セレクション・外国株式インデックス
外国株式型	

ファンドの特色	
主な投資対象	…「TMA外国株式インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券
目標とする運用成果	… MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果の達成をめざして運用を行います。
ベンチマーク	… MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)



※ 基準価額は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。  
 ※ ベンチマークはMSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)で、設定日前日を10,000円として指数化しています(設定日:2010年4月28日)。  
 ※ 基準価額は対顧客電信売買相場の仲値(TTM)を用いて計算しているため、MSCIコクサイ指数は、基準日前日のMSCIコクサイ指数(米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものを使用しています。  
 ※ 基準価額は1万円当たりで、信託報酬(設定日から2016年9月30日まで年率0.7%(税抜)、2016年10月1日以降年率0.2%(税抜)控除後のものです。

**市況コメント**  
 7月の海外株式市場は前月末対比上昇しました。月前半は、6月の米国非農業部門雇用者数の伸びが事前予想を上回ったほか、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融緩和と縮小への懸念が後退し、海外株式市場は上昇しました。月後半は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まり海外株式市場は下落する局面もあったものの、企業決算が総じて事前予想を上回る内容となったほか、パウエルFRB議長が金融緩和の修正が必要になる時期はしばらく先になると発言したことなどが好感され、海外株式市場は上昇して当月を終えました。

基準価額	37,355 円
純資産総額	44,799 百万円
設定日	2010年4月28日

騰落率(税引前分配金を再投資、%)								
	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	1.48	5.50	21.98	43.30	52.41	112.22	310.54	273.55
ベンチマーク	1.45	5.61	21.98	44.15	54.59	117.28	340.68	306.82
差	0.03	-0.11	0.00	-0.86	-2.18	-5.06	-30.14	-33.27

※騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算していますので、実際の投資家利回り異なる場合があります。

分配金情報(1万円当たり、税引前)	
基準日現在、分配実績はありません。	

※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わない場合があります。

資産別配分		
資産	比率(%)	
株式	97.1	
株式先物	5.4	
短期金融資産など	-2.6	
合計	100.0	

国・地域別配分		
No	国・地域名	比率(%)
1	アメリカ	70.4
2	イギリス	4.4
3	フランス	3.4
4	カナダ	3.4
5	スイス	3.0
	その他	12.5

通貨別配分		
No	通貨名	比率(%)
1	米ドル	70.5
2	ユーロ	10.1
3	英ポンド	4.4
4	カナダ・ドル	3.4
5	スイス・フラン	3.0
	その他	5.8

※ マザーファンドの資産の状況を記載しています。  
 ※ 比率は、純資産総額に占める割合です。  
 ※ 株式には、不動産投資信託証券(REIT)を含む場合があります。  
 ※ 短期金融資産などは、組入価証券以外のものです。

組入上位10銘柄				
No	銘柄名	国・地域名	業種名	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	IT/ソフトウェアおよび機器	4.3
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	2.7
4	FACEBOOK INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.5
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4
7	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	0.9
8	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.9
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.8
10	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.8
	合計			18.4

組入上位5業種		
No	業種名	比率(%)
1	ソフトウェア・サービス	12.1
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.4
3	メディア・娯楽	7.3
4	資本財	6.3
5	IT/ソフトウェアおよび機器	5.8
	合計	38.9

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命が提供するものです。
- ・ 商品内容の詳細については、「特別勘定のしおり」「ご契約のしおり・約款」等をご覧ください。
- ・ 最終ページにご負担いただく費用について「投資リスクについて」等を記載しておりますのでご確認ください。





## ご負担いただく費用について

### (1) 保険関係費用

項目	控除する時期等
① 保険契約の締結および維持に必要な費用	特別勘定に繰り入れる際に保険料から控除します。
② 保険料払込みの免除に関する費用	ア. 特別勘定に繰り入れる際に保険料に対して0.2%をその保険料から控除します。 イ. このほか、特定疾病保険料払込免除特約01 <sup>※1</sup> を付加した場合は、付加した特約による保険料払込みの免除に関する費用を保険料から控除します。
③ 死亡保険金・高度障害保険金を支払うための危険保険料に相当する費用 <sup>※2</sup>	契約日および月単位の契約応当日が到来するごとに、その日の始めに積立金から控除します。
④ 基本保険金額を最低保証するための費用	毎日その日の終わりに積立金額に対して年率0.375%を積立金から控除します。

保険関係費用のうち、上記①、②イ、および③の費用は、被保険者の年齢・性別・保険期間等によって異なります。また、上記③の費用は月単位の契約応当日の前日における積立金額や月単位の契約応当日における被保険者の年齢等によって計算されるため、保険契約締結後も変動します。そのため、上記①、②イ、および③の費用を具体的な金額や割合で表示することはできません。

※1 特定疾病保険料払込免除特約01は、中途付加はできません。

※2 保険契約の維持に必要な費用の一部を含みます。

### (2) 資産運用関係費用

当資料の「特別勘定の内容および運用方針について」をご参照ください。

特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬等	特別勘定の主な投資対象となる投資信託の管理・運用にかかる信託報酬等の費用をいいます。資産運用関係費用としては、信託報酬のほか、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかります。また、当社が投資信託を解約する場合、信託財産留保金 <sup>※3</sup> がかかることがあります。
------------------------	---

※3 信託財産留保金とは、投資信託を解約する場合に解約金額から控除し、信託財産に留保されるものをいいます。この保険では、海外REIT型の特別勘定を選択した場合にはかかります。

### (3) 解約・減額時にご負担いただく費用

項目	費用	控除する時期
解約控除 <sup>※4</sup>	解約日または減額日における保険料の払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額またはその減額分に対して、保険料の払込年月数により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※4 解約控除額は基本保険金額・保険料払込期間・保険料の払込年月数等によって異なるため、具体的な金額を表示することができません。自動延長定期保険・変額払済保険・定額払済保険に変更する場合等も、保険料の払込年月数が10年未満のときは、変更後のご契約に充当する解約返戻金等に解約控除がかかります。

### (4) 年金支払特約にもとづく満期保険金の年金受取時にご負担いただく費用

項目	費用	控除する時期
年金管理費	毎年お支払いする年金額に対して0.45% <sup>※5</sup>	毎年の年金お支払いの基準日に責任準備金から控除します。

※5 2024年8月現在。年金基金設定日の年金管理費率が適用されるため上記と異なることがあります。

- ◆ この保険にかかる費用の合計額は、(1) 保険関係費用および(2) 資産運用関係費用の合計額です。ただし、上記(3)または(4)の場合は、その費用をあわせてご負担いただきます。
- ◆ 払込保険料から保険関係費用の一部を控除した金額を特別勘定に繰り入れますので、払込保険料の全額を特別勘定で運用するものではありません。
- ◆ 特定疾病保険料払込免除特約01を付加した場合、特約部分の保険料は、特約による保険料払込みの免除に関する費用、特約の締結および維持に必要な費用を賄うために負担いただきます。このため、特別勘定に繰り入れる金額は、特定疾病保険料払込免除特約01を付加しないときの金額と同額です。

## 投資リスクについて

- ◆ この保険は、満期保険金額、解約返戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて変動(増減)するしくみの生命保険です。特別勘定資産は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この保険には資産配分リスク・価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク・流動性リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券等の価格の下落・為替の変動等により、満期保険金、解約返戻金等のお受け取りになる金額が払込保険料の合計額を下回ることがあり、ご契約者に損失が生じるおそれがあります。
- ◆ これらの投資リスクはすべてご契約者に帰属します。特別勘定資産の運用成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または生命保険募集人などの第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。
- ◆ 運用対象・運用方針の異なる複数の特別勘定の中から、お客様のご判断で投資対象となる特別勘定をお選びいただけます。また、ご契約後に特別勘定への保険料の繰入割合を変更し、または積立金の移転(スイッチング)を行う場合、特別勘定の種類によっては基準となる指標やリスクの種類が変わることがあります。
- ◆ 資産運用に関する事項の詳細については、「特別勘定のしおり」に記載していますのでご参照ください。

商品の内容に関しては、「ご契約のしおり・約款/契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「特別勘定のしおり」を必ずご覧ください。

【引受保険会社】

**東京海上日動あんしん生命保険株式会社**

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

☎ 0120-517-104

受付時間 平日:9:00~17:00

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)



\*300601\*